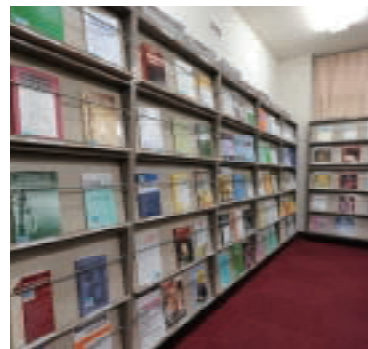


研究所探訪

産業研究所



日本の企業を取り巻くビジネス環境は、今日大変革を遂げています。グローバル化、情報（IT）化、規制緩和・自由化の波が日本の企業に対して幾多の困難な問題を提起し、経営戦略の的確な対応を迫っています。産業研究所はこうした現実経済のダイナミックな動向を踏まえ、商学・経営学・経済学における最先端の知識を生かして理論的・実証的研究を行い、その成果を広くビジネス社会に還元しています。

産業研究所は古く 1958 年に経営研究所として創設されました。1994 年に産業研究所と名称が変更され今日に至っております。こうして半世紀以上もの長きに亘り、“実学”を重んずる商学部の附属研究機関としてその役割を担ってまいりました。活動内容は多岐に亘っていますが、主なものを挙げれば以下のごとくです。

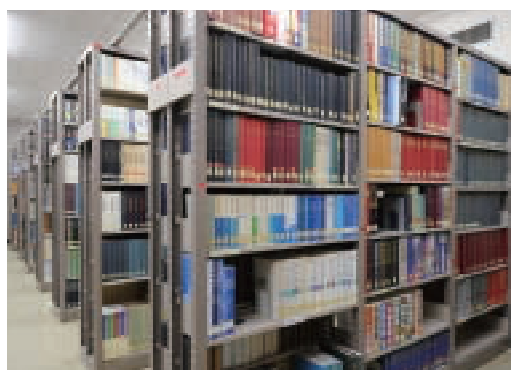
【調査研究】：現実経済の要請に応えた個人・共同研究プロジェクトが、本研究所の中心的活動として活発に行われています。例えば 2003～05 年度に日本私学振興共済事業団の助成金を得て共同研究「地域産業再生のための情報化と経済政策」（2006.3 報告書発刊）が実施されました。これは時機を得た研究として多方面から高い評価を受けました。また、昨年度（2009）は、未曾有の金融危機を踏まえ、「激変する世界環境下での新たなビジネス戦略の展開」研究を本学流通科学研究所と共同でスタートさせております。

【出版】：研究所報『地域分析』や研究報告書、リプリントの発刊などを通じて、本研究所の研究成果を広く世に発信しています。特に最近刊行された『小売業態の国際移転の研究』（2008.3）や『ポストバブル期の金融機関の行動』（2009.3）は、若手研究者の手になる優れた研究業績として多くの関心を集めております。

【その他】：学術文献・資料などを広く収集整備し、閲覧できるようにしています。また、定期的に学内外から研究者を招き講演会を開催すると共に、本研究所員の研究報告会も随時開いています。

（所長 岡田 義昭）

本研究所ウェブ・サイト http://www.agu.ac.jp/~shogaku/research/sanken_index.html



産業研究所は約45,000冊の書籍を有する。